



みなみっ子

11月の生活目標：「元 気 な あ い さ つ を し ょ う」

NO. 14

四万十市立中村南小学校 (TEL:34-7400)

多くの先生方の前でがんばった1年2組のみなさん

10月30日(金)に、授業づくり講座(算数)が本校で行われました。授業づくり講座というのは、授業を通して行う教員の研修会で、この日は、遠くは馬路村からの参加者もあり、高知県内から60名を超える先生方の参加がありました。



当日は、1年2組の算数の授業を参加者の先生方に見ていただき、よりよい授業にするには、どのような工夫をしたらよいかなどについて、研修を行いました。

新型コロナウイルス感染症対策のため、外部から来ていただいた先生方には、2つの教室に分かれて、それぞれ2台のテレビで同時中継により授業の様子を見ていただきました。

また、研修会の後半には、島根県立大学の齊藤一弥教授(本校が使用している算数の教科書の執筆者であり、算数教育で全国的に活躍されている先生)に、南小学校の取組について指導助言をいただきました。

この日参加をしていた他校の先生方に、南小学校の子どもたちのことについて、たくさんほめていただいたのですが、特に、次の2つのことについてほめてもらいました。

1年2組のみなさんの勉強の様子について

1年2組の子どもたちが、担任の松岡紗希先生と一緒に集中して算数の勉強をしていることに、他校の先生方もびっくりしていました。考える時には、しっかり考えて、発表する時には、発表することができ、みんなが一生けん命、考えることができていました。授業が終わったあとには、「はやっ」という声のでるくらい、1年2組の全員が集中して勉強することができました。

中村南小学校の子どもたちのあいさつについて

子どもたちのあいさつの仕方について、ほめていただきました。「こんにちは」と元気な声であいさつするだけでなく、立ち止まって丁寧におじぎをする姿を見て、びっくりされた先生が多くいました。

楽しさ・思い出いっぱいの修学旅行

☆ 6年生が修学旅行に行ってきました。

11月8日（日）～10日（火）の2泊3日で、6年生が香川・愛媛方面に修学旅行に行きました。

今年度の修学旅行は、当初は5月に広島方面に行く予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響で、場所を四国内として11月に実施しました。



6年生の保護者のみなさんには、旅行先や日程の変更、新型コロナウイルス感染症が心配される中での旅行の承諾、そして、子どもたちの健康管理と毎日の健康観察等、ご理解ご協力をいただきました。

学校としても、「小学校の修学旅行は、一生に一度しかない」そして、小学校最大の行事である修学旅行に、何としても6年生を行かせたいという思いで、準備をしてきました。

今回、6年生36名全員が、修学旅行に参加することができ、無事に実施することができました。これも保護者のみなさんのご理解ご協力のおかげです。心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

簡単に3日間の修学旅行の様子をお伝えします。

【1日目】

修学旅行の出発式では、修学旅行の3つの大きな目的について、話しました。

- ①集団での行動を学ぶ場、学ぶ機会だということ
- ②学ぶ、体験する旅行だということ
- ③いつも一緒にいる家族、当たり前のように一緒にいる家族の存在について考えること

6年生全員が、出発式での校長の話を、これから始まる2泊3日の旅に期待を抱きながら、しっかりと聞いていた姿が印象的でした。

1日目の最初は、香川県の「中野うどん学校」での手打ちうどん作り体験です。まずは、うどんの生地を麺棒で伸ばして、約3mmの太さに切っていました。この麺が昼食になります。その後は、うどんの生地作りです。小麦粉に食塩水を入れながら、手早くまぜていきました。そうしてできた生地を、何回も足で踏むと完成です。この生地は、各家庭に持ち帰って、食べたことだと思います。味は、いかがだったでしょうか。



みんなが切った（中には、とても太い麺もありましたが・・・）手打ちうどんを食べた後は、栗林公園です。ガイドさんに案内してもらいながら、国の特別名勝に指定されている文化財庭園の中で、最大の広さをもつ栗林公園を散策しました。公園内には、鶴亀松や屏風松、根上がり松などのたくさんの松があったのですが、それが気に入ったのか持ってきた使い捨てカメラで、松の写真を撮る人が続出。「これから、写真を撮るスポットはいろいろとあるのに大丈夫かな？」「枚数は足りるのかな？」と思いながら、心配したことです。



1日目の最後は、四方を海に囲まれた四国の豊かな水景を再現した四国水族館。子どもたちは、海だけでなく川などの生き物を通して、四国の豊かな自然を体感したのではないのでしょうか。そして、帰りにはお土産ショップで、家族へのお土産、自分の買い物をして帰りました。その後、隣にあるゴールドタワーへ上りました。

地上119mから、眼下に広がる瀬戸大橋をバックに金魚が優雅に空を舞っているという、めったに見ることができない景色を楽しみ1日目を終えました。

【2日目】

2日目は、参道入口から本宮まで785段の石段が連なる金刀比羅宮の参拝からスタートです。子どもたちは、途中の参拝者や店の方にも「おはようございます」と元気なあいさつをして、疲れた顔を見せることなく、本宮まで登り切りました。一方、校長を含めた引率の教員は・・・。ご想像におまかせします。

本宮からの帰りは、それぞれがお土産などを買いながら自由に下りて行っただけですが、参道の両側にある店を通るたびに、店の人に声をかけられ、お土産が増えていった人も何人かいました。

その後、今回の修学旅行で最大の楽しみ「レオマワールド」に行きました。レオマワールドでは、36人の子どもたちが、それぞれのグループに分かれて、笑顔でお気に入りのアトラクションを存分に楽しみ、あっという間の4時間半でした。この日の夜は、きれいな部屋や浴室に驚きながら、四国で一番大きなホテル「今治国際ホテル」に泊まりました。



【3日目】



修学旅行最終日は、しまなみ海道のサイクリングがメインです。世界初の3連つり橋である来島海峡大橋を渡る約7kmのコースをサイクリングしました。しまなみ海道のサイクリングでは、瀬戸内海の景色を楽しみながら、普段であれば絶対に見ることができない開放感のある景色を楽しみました。来島海峡大橋の一番高いところから水面までは65mもあり、はるか下の海を見下ろしながら、そして、爽快な潮風を感じながらサイクリングを楽しみました。



その後、来島海峡急流観潮船に乗り、来島海峡大橋を真下から見たり、日本最大の海事都市である今治の造船所を間近で見たりすることもできました。

昼食のあとは、旅行の行程にはなかったのですが、添乗員さんと運転手さんのご厚意で、来島海峡を一望できる「亀老山展望公園」へ行き、瀬戸内海の景色を楽しみました。



☆修学旅行で、一番良かったことは・・・。

2泊3日の修学旅行を通して、明るい笑顔、優しさ、素直さ、仲の良さ等、6年生の良いところを再発見することができました。特に一番良かったのでは、あいさつです。いろいろな場で、その場に合ったあいさつや言動が見受けられ、中村南小学校の6年生の良さを、再確認することができました。

これからの6年生の活躍に大きな期待がもてる3日間でした。



◎引き続き新型コロナウイルス感染症対策をお願いします。

新型コロナウイルス感染症が全国で拡大しており、全国的には「第3波」といわれる状況が続いています。引き続き、各家庭での朝の検温や健康観察、マスクの着用等のご協力をよろしくお願いします。また、手洗いや3密を防ぐなどの感染症対策もお願いいたします。

最近、マスクを忘れてくる人が多く、忘れてきた人は学校のものを使うようにしていますが、マスクが足りない状況です。

今後は、忘れてきた時のために、予備のマスクを全員がランドセルに入れておくようにしたいと思います。各学級でも、呼びかけますが、ご理解ご協力をお願いいたします。マスクを着けて日常生活を送ることが、当たり前前の社会になっていることから、学校でも特別な場合を除き、マスク着用を指導していきます。

